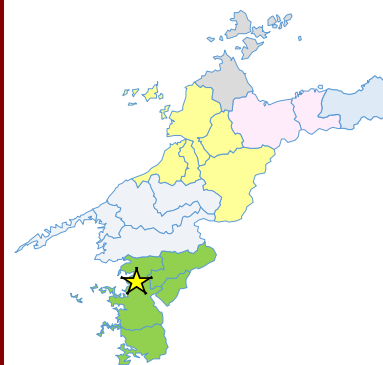


クリニカルパス適用日数における D P Cデータの活用

市立宇和島病院 医事課情報管理係
診療情報管理士 谷脇 広樹

(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL

市立宇和島病院の概要



- 435床、34科 (ICU : 4床、CCU : 2床、HCU : 14床、NICU6床、結核 : 5床、感染症 : 4床、一般400床)

<令和2年度 (令和元年度)>

- 平均在院日数 12.7日 (12.8日)
- 入院延べ患者数 127,435人 (145,542人)
- 外来延べ患者数 196,883人 (233,518人)
- 地域がん診療連携拠点病院、南予救命救急センター、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院 等

(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL

<DPC>

- 平成19年度 D P C準備病院
- 平成22年7月 D P C対象病院 (DPC標準病院群)
機能評価係数Ⅱ…0.1294 (R2年度~)

<市立宇和島病院 導入DPC分析ツール>

- 富士通
HOPE DPCCompass
主に入院中及び退院時の請求時チェックに使用
- メディカル・データ・ビジョン (以降、MDVと表記)
EVE
主にデータ集計やベンチマーク機能等を用いた検索に使用
(クリニカルパス適用日数確認も主に使用)

(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL

D P Cとは？

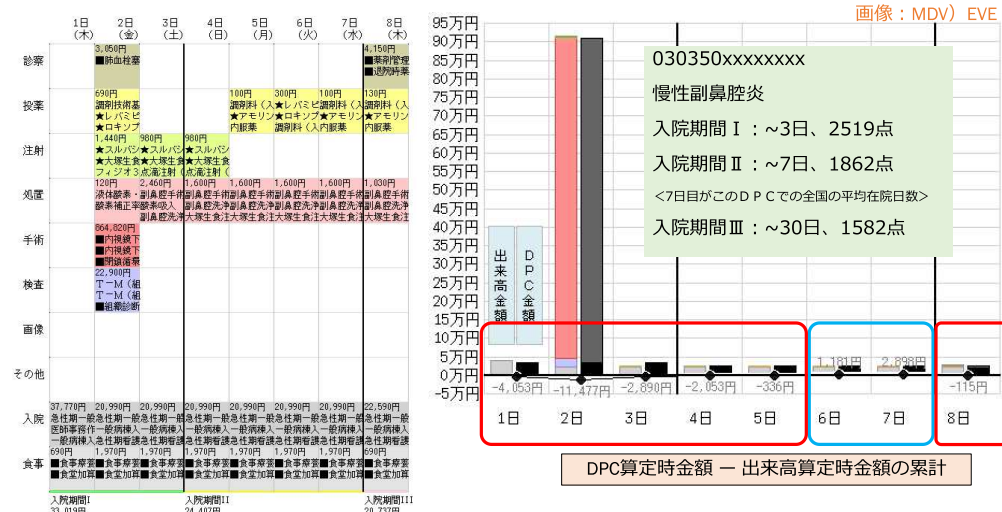
入院中、最もコストのかかる傷病名の決定

傷病名に定められている手術・処置等の有無
による分岐の確認

DPCコードの決定 ※これにより3段階の日数
及び日当点数が決定する

(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL

なぜパス適用日数のDPC確認が必要なのか



(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL

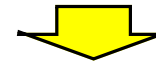
クリニカルパス適用日数確認の流れ

クリニカルパス承認検討の前に、作成者より適用日数が適正であるか確認依頼



下記内容を作成者に確認

主病名、実施する手術・処置等、どれくらいの適用日数を検討中か、(あれば)作成予定のパスと同等の医療資源を投じている過去の退院済症例



(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL

・DPC過去症例との照らし合わせ

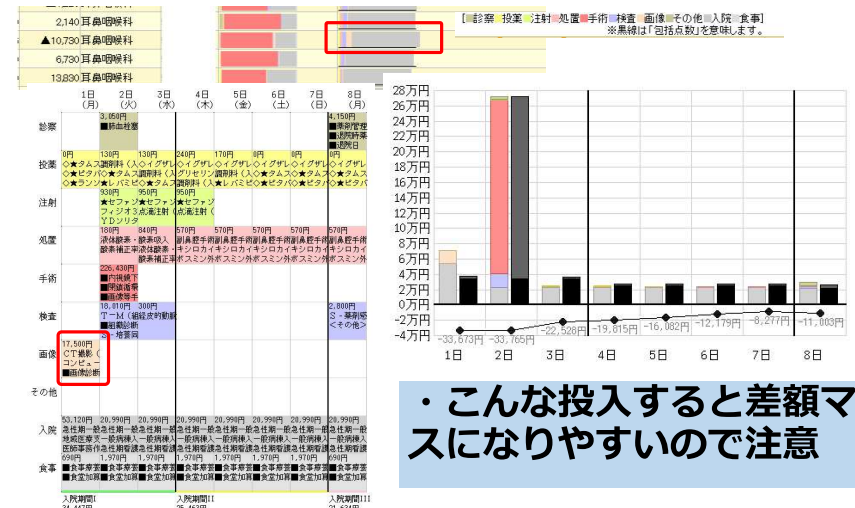
症例日数	病名	7日	出来高(円)	DPC(円)	差額	診療科	主病名	出来高の構成	【投薬】【注射】【処置】【検査】【画像】
8日(3)	1日		18,010	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		2,030	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		10,480	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		▲11,890	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		▲440	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		▲11,010	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		▲10,840	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		6,460	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		9,010	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		2,870	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		▲21,500	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		▲1,220	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		2,140	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		▲10,730	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		6,730	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		18,830	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		▲4,820	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		4,240	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		6,250	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		11,840	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		1,210	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		▲7,190	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		12,120	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		3,190	耳鼻咽喉科					
8日(3)	1日		2,870	耳鼻咽喉科					

・自院は何日ぐらいでの退院が多いのか
・こういった投入量になっているのか、作成パスとの照らし合わせ
・厚労省平均在院日数の確認等...

画像：MDV) EVE

(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL

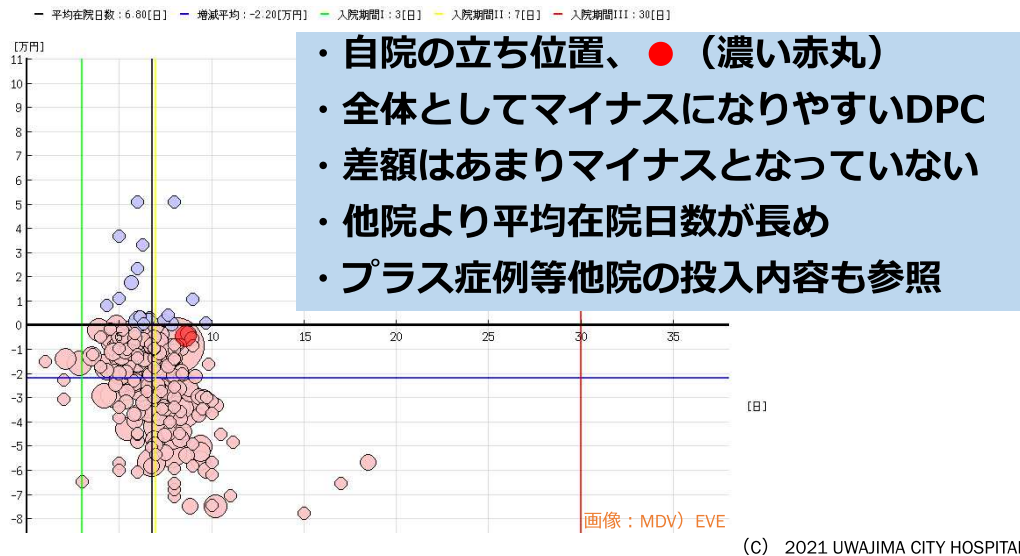
・注意点等の確認



画像：MDV) EVE

(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL

・ベンチマークの他院症例との照らし合わせ



■ このような流れで情報を確認し、適正と考えられる日数を作成者に伝える。その際に算定上での注意点等あれば伝える。

■ 課題としては、
癌性疼痛のコントロール等医療資源病名を絞り切れ
ないものやプロセスパスへの対応が難しい
といったことがあげられます。

医療の標準化・チーム医療・患者様中心の医療の実施を普及・啓発されるクリニカルパスですが、健全経営も考慮した診療報酬上の面での目線もご検討いただければ幸いです。

(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL

ご清聴ありがとうございました

(C) 2021 UWAJIMA CITY HOSPITAL